

# 食品製造業の売上DI

—平成 22 年 7 月—

## 【 概要 】

### 1 売上予測DI

食品製造業における平成 22 年 10 月の売上予測 DI（先行き平成 22 年 9 月～11 月の予測で中間月で示す。以下同じ）は、42.0（最低=0、最高=100 で分岐点は 50、以下同じ）で、前月に比べて▲1.1 ポイントとなった。

業種別にみると、コーヒー・茶系飲料が 45.0 で最も高く、次いで調理食品が 43.9、製穀粉・同加工品が 42.7、水産食料品が 42.0、農産食料品が 41.8、畜産食料品と菓子が 41.7、調味料が 39.8 となっている。

図1 総合「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

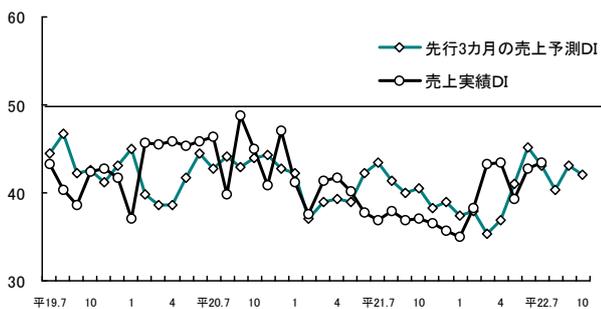


表1 先行3カ月の売上予測DI

	平22.8月	9月	10月	前月差
総合	40.3	43.1	42.0	▲ 1.1
畜産食料品	43.8	43.8	41.7	▲ 2.1
水産食料品	42.8	44.8	42.0	▲ 2.8
農産食料品	39.1	39.7	41.8	2.1
製穀粉・同加工品		41.4	42.7	1.3
調味料		33.7	39.8	6.1
コーヒー・茶系飲料	35.0	40.0	45.0	5.0
菓子		48.3	41.7	▲ 6.6
調理食品	40.0	43.9	43.9	0.0

### 2 売上実績DI

食品製造業における平成 22 年 7 月の売上実績 DI は 43.4 で、前月に比べて 0.6 ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品とコーヒー・茶系飲料が 50.0 で最も高く、次いで製穀粉・同加工品が 46.3、菓子が 43.3、調理食品が 43.2、水産食料品が 40.7、農産食料品が 39.5、調味料が 26.1 となっている。

図2 売上実績DI

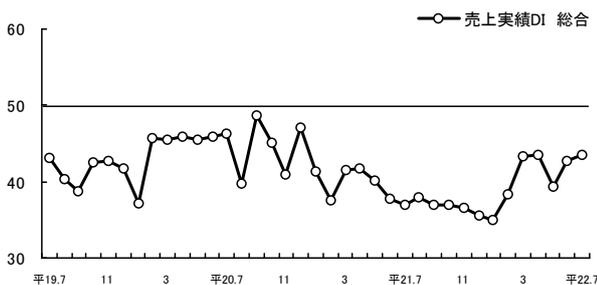


表2 売上実績DI

	平22.5月	6月	7月	前月差
総合	39.3	42.8	43.4	0.6
畜産食料品	50.0	56.3	50.0	▲ 6.3
水産食料品	42.1	44.2	40.7	▲ 3.5
農産食料品	37.5	40.5	39.5	▲ 1.0
製穀粉・同加工品		44.0	46.3	2.3
調味料		27.2	26.1	▲ 1.1
コーヒー・茶系飲料	35.0	40.0	50.0	10.0
菓子		40.3	43.3	3.0
調理食品	38.8	40.9	43.2	2.3

### 3 製品販売価格DI

食品製造業における平成22年7月の製品販売価格DIは45.1で、前月に比べて0.4ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品が50.0で最も高く、次いで水産食料品が49.4、調理食品が46.2、コーヒー・茶系飲料が45.0、製穀粉・同加工品が44.3、菓子が43.3、農産食料品が43.0、調味料が37.5となっている。

図3 製品販売価格DI

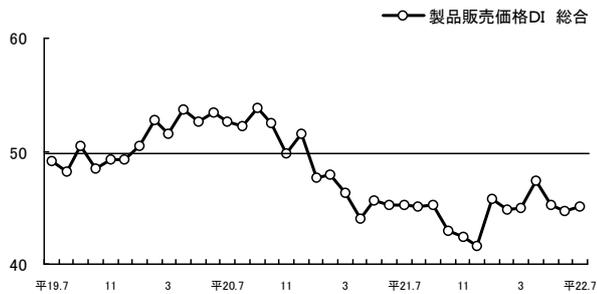


表3 製品販売価格DI

	平22.5月	6月	7月	前月差
総合	45.2	44.7	45.1	0.4
畜産食料品	50.0	50.0	50.0	0.0
水産食料品	50.0	50.0	49.4	▲0.6
農産食料品	41.8	42.1	43.0	0.9
製穀粉・同加工品		43.2	44.3	1.1
調味料		43.5	37.5	▲6.0
コーヒー・茶系飲料	45.0	45.0	45.0	0.0
菓子		43.2	43.3	0.1
調理食品	46.3	47.0	46.2	▲0.8

### 4 原料価格予測DI

食品製造業における平成22年10月の原料価格予測DI（平成20年6月から調査開始。先行き平成22年9月～11月の予測で中間月で示す。以下同じ）は56.4で、前月に比べて3.1ポイントとやや上昇した。

業種別にみると、菓子が60.8で最も高く、次いで調理食品が57.8、水産食料品が57.3、製穀粉・同加工品が56.1、農産食料品とコーヒー・茶系飲料が55.0、調味料が51.1、畜産食料品が50.0となっている。

図4 原料価格予測DI

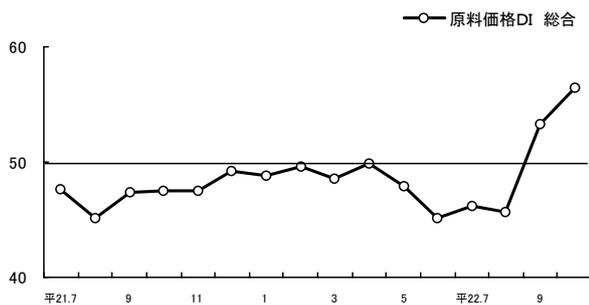


表4 原料価格予測DI

	平22.8月	9月	10月	前月差
総合	45.7	53.3	56.4	3.1
畜産食料品	56.3	50.0	50.0	0.0
水産食料品	43.8	52.4	57.3	4.9
農産食料品	47.3	53.6	55.0	1.4
製穀粉・同加工品		52.8	56.1	3.3
調味料		48.9	51.1	2.2
コーヒー・茶系飲料	45.0	50.0	55.0	5.0
菓子		55.1	60.8	5.7
調理食品	42.1	53.1	57.8	4.7

## 5 原料需給予測DI

食品製造業における平成22年10月の原料需給予測DI（平成20年6月から調査開始。先行き平成22年9月～11月の予測で中間月で示す。以下同じ）は47.3で、前月比0.1ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品が50.0で最も高く、次いで製穀粉・同加工品が47.8、調味料が47.7、調理食品が46.1、農産食料品と菓子とが45.8、コーヒー・茶系飲料が45.0、水産食料品が44.2となっている。

図5 原料需給予測DI

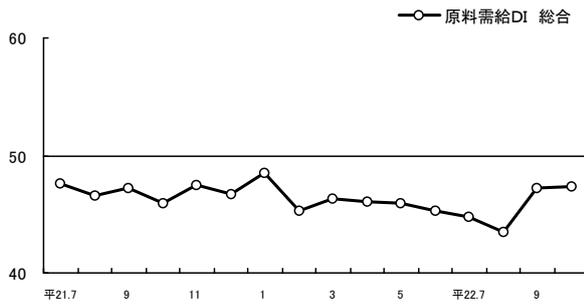


表5 原料需給予測DI

	平22.8月	9月	10月	前月差
総合	43.5	47.2	47.3	0.1
畜産食料品	43.8	50.0	50.0	0.0
水産食料品	42.8	40.1	44.2	4.1
農産食料品	44.5	46.0	45.8	▲ 0.2
製穀粉・同加工品		46.8	47.8	1.0
調味料		46.7	47.7	1.0
コーヒー・茶系飲料	50.0	50.0	45.0	▲ 5.0
菓子		48.3	45.8	▲ 2.5
調理食品	39.5	46.3	46.1	▲ 0.2

## 6 在庫水準DI

食品製造業における平成22年7月の在庫水準DIは51.5で、前月比▲2.0ポイントとやや低下した。

業種別にみると、菓子が59.2で最も高く、次いで調理食品が50.8、農産食料品が50.4、畜産食料品と調味料、コーヒー・茶系飲料が50.0、製穀粉・同加工品が49.8、水産食料品が48.3となっている。

図6 在庫水準DI

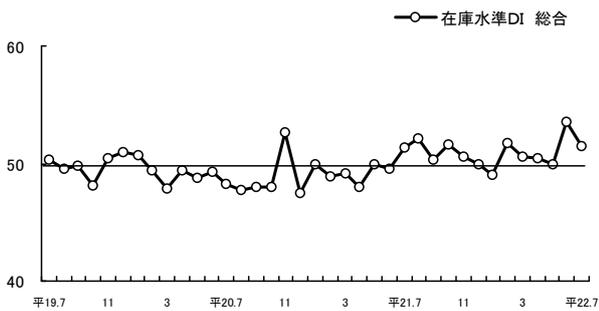


表6 在庫水準DI

	平22.5月	6月	7月	前月差
在庫水準DI 総合	50.0	53.5	51.5	▲ 2.0
畜産食料品	50.0	56.3	50.0	▲ 6.3
水産食料品	45.9	45.8	48.3	2.5
農産食料品	51.2	51.2	50.4	▲ 0.8
製穀粉・同加工品		53.5	49.8	▲ 3.7
調味料		56.5	50.0	▲ 6.5
コーヒー・茶系飲料	50.0	50.0	50.0	0.0
菓子		55.7	59.2	3.5
調理食品	53.9	51.8	50.8	▲ 1.0

## 【業種別の動向】

### 1 畜産食料品

畜産食料品の平成 22 年 10 月の売上予測 DI は 41.7 で、前月比▲2.1 ポイントとやや低下した。一方、平成 22 年 7 月の売上実績 DI は 50.0 で、前月比▲6.3 ポイントと低下した。

次に平成 22 年 7 月の製品販売価格 DI は 50.0 で、前月とかわらない。平成 22 年 10 月の原料価格予測 DI は 50.0 で、前月とかわらない。

図7 畜産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

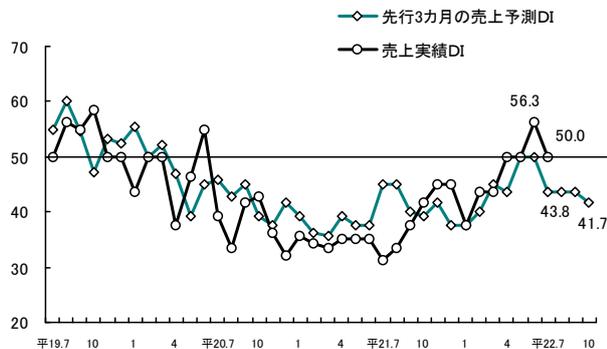
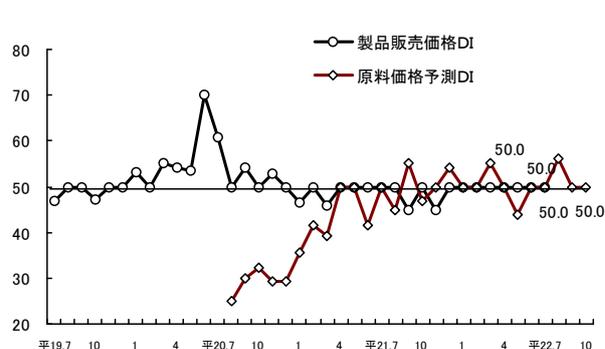


図8 畜産「製品価格DI、原料価格予測DI」



### 2 水産食料品

水産食料品の平成 22 年 10 月の売上予測 DI は 42.0 で、前月比▲2.8 ポイントとやや低下した。一方、平成 22 年 7 月の売上実績 DI は 40.7 で、前月比▲3.5 ポイントとやや低下した。

次に平成 22 年 7 月の製品販売価格 DI は 49.4 で、前月比▲0.6 ポイントとなった。平成 22 年 10 月の原料価格予測 DI は 57.3 で、前月比 4.9 ポイントとやや上昇した。

図9 水産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

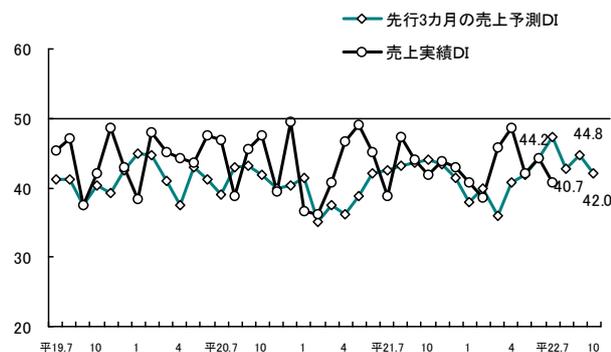
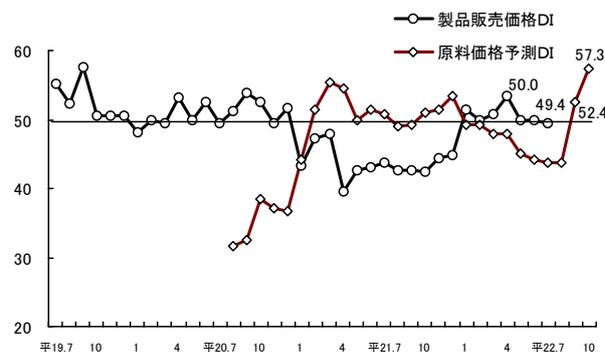


図10 水産「製品価格DI、原料価格予測DI」



### 3 農産食料品

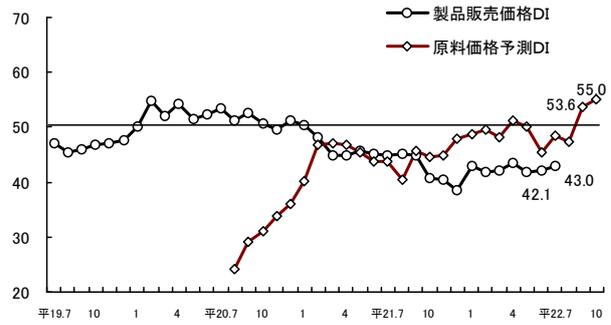
農産食料品の平成 22 年 10 月の売上予測 DI は 41.8 で、前月比 2.1 ポイントとやや上昇した。一方、平成 22 年 7 月の売上実績 DI は 39.5 で、前月比▲1.0 ポイントとなった。

次に平成 22 年 7 月の製品販売価格 DI は 43.0 で、前月比 0.9 ポイントとなった。平成 22 年 10 月の原料価格予測 DI は 55.0 で前月比 1.4 ポイントとなった。

図11 農産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」



図12 農産「製品価格DI、原料価格予測DI」



### 4 製穀粉・同加工品

製穀粉・同加工品の平成 22 年 10 月の売上予測 DI は 42.7 で、前月比 1.3 ポイントとなった。一方、平成 22 年 7 月の売上実績 DI は 46.3 で、前月比 2.3 ポイントとやや上昇した。

次に平成 22 年 7 月の製品販売価格 DI は 44.3 で、前月比 1.1 ポイントとなった。平成 22 年 10 月の原料価格予測 DI は 56.1 で、前月比 3.3 ポイントとやや上昇した。

図13 製穀粉・同加工品「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

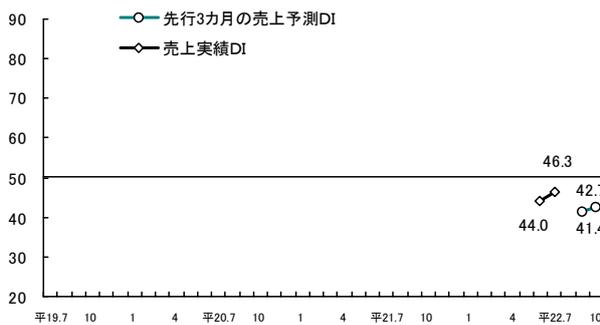
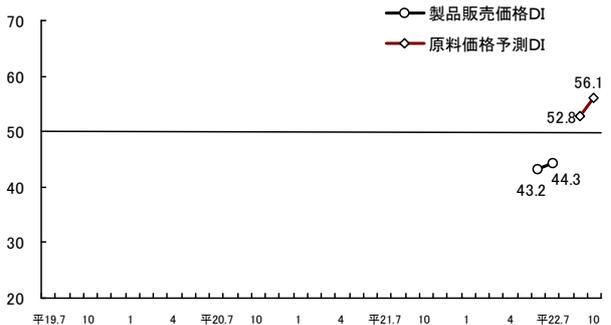


図14 製穀粉・同加工品「製品価格DI、原料価格予測DI」



## 5 調味料

調味料の平成 22 年 10 月の売上予測 DI は 39.8 で、前月比 6.1 ポイントと上昇した。一方、平成 22 年 7 月の売上実績 DI は 26.1 で、前月比▲1.1 ポイントとなった。

次に平成 22 年 7 月の製品販売価格 DI は 37.5 で、前月比▲6.0 ポイントと低下した。平成 22 年 10 月の原料価格予測 DI は 51.1 で、前月比 2.2 ポイントとやや上昇した。

図15 調味料「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

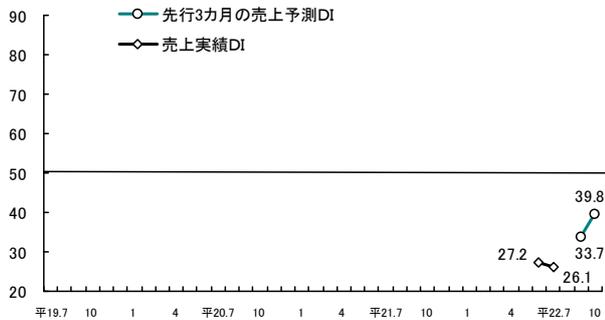
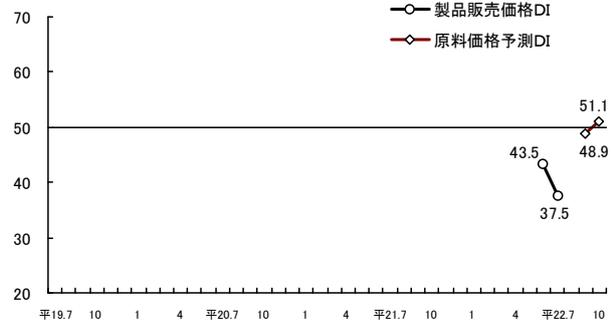


図16 調味料「製品価格DI、原料価格予測DI」



## 6 コーヒー・茶系飲料

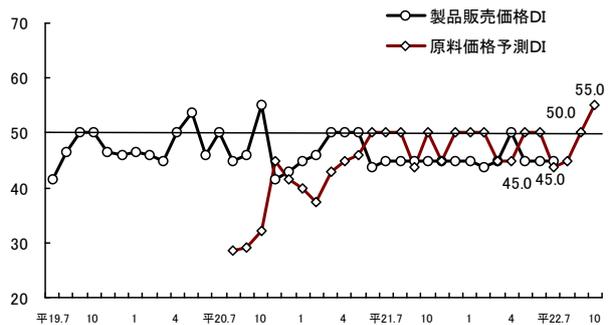
コーヒー・茶系飲料の平成 22 年 10 月の売上予測 DI は 45.0 で、前月比 5.0 ポイントと上昇した。一方、平成 22 年 7 月の売上実績 DI は 50.0 で、前月比 10.0 ポイントと上昇した。

次に平成 22 年 7 月の製品販売価格 DI は 45.0 で、前月とかわらない。平成 22 年 10 月の原料価格予測 DI は 55.0 で、前月比 5.0 ポイントと上昇した。

図17 コーヒー・茶系飲料「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」



図18 コーヒー・茶系飲料「製品価格DI、原料価格予測DI」



## 7 菓子

菓子の平成 22 年 10 月の売上予測 DI は 41.7 で、前月比▲6.6 ポイントと低下した。一方、平成 22 年 7 月の売上実績 DI は 43.3 で、前月比 3.0 ポイントとやや上昇した。

次に平成 22 年 7 月の製品販売価格 DI は 43.3 で、前月比 0.1 ポイントとなった。平成 22 年 10 月の原料価格予測 DI は 60.8 で、前月比 5.7 ポイントと上昇した。

図19 菓子「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

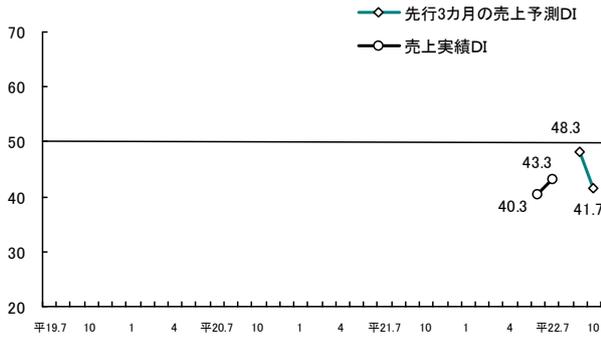
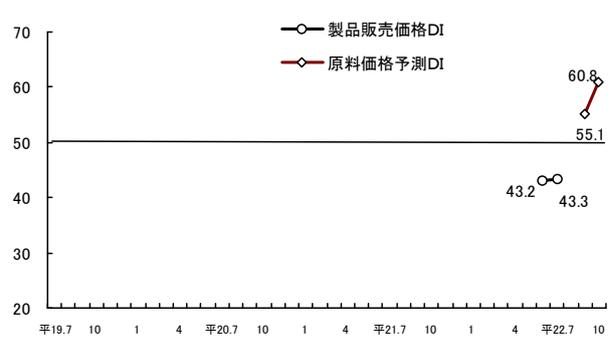


図20 菓子「製品価格DI、原料価格予測DI」



## 8 調理食品

調理食品の平成 22 年 10 月の売上予測 DI は 43.9 で、前月とかわらない。一方、平成 22 年 7 月の売上実績 DI は 43.2 で、前月比 2.3 ポイントとやや上昇した。

次に平成 22 年 7 月の製品販売価格 DI は 46.2 で、前月比▲0.8 ポイントとなった。平成 22 年 10 月の原料価格予測 DI は 57.8 で、前月比 4.7 ポイントとやや上昇した。

図21 調理食品「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」



図22 調理食品「製品価格DI、原料価格予測DI」



## 【 利用者のために 】

### (1) 判断基準項目

- ・ 売上予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す) ※1
- ・ 売上実績 DI (当月の実績) ※1
- ・ 製品販売価格 DI (当月の実績) ※1
- ・ 原料価格予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す) ※1 ※2
- ・ 原料需給予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す) ※1 ※2
- ・ 在庫水準 DI (当月の実績) ※1

※1 平成 22 年 7 月調査分より、製穀粉・同加工品、調味料、菓子の 3 部門を追加し、調理食品は調査企業を増やした。そのため、売上予測 DI、原料価格予測 DI、原料需給 DI については、平成 22 年 8 月までとそれ以降で、また、売上実績 DI、製品販売価格 DI、在庫水準 DI については、平成 22 年 5 月までとそれ以降で、それぞれの総合の DI に連続性がないことに留意ください。

※2 平成 20 年 6 月より調査開始。なお、従来調査していた原料価格 DI と原料需給 DI は取りやめた。

### (2) DI の算出方法

- ① DI Diffusion Index の増減分岐点は 50%ラインが目安である。  
(最高=100~最低=0)
- ② 指数は、回答の 5 段階選択肢「増加」、「やや増加」、「変わらない」、「やや減少」、「減少」(前年同期比)の構成比にそれぞれ+1、+0.75、+0.5、+0.25、+0 を乗じて算出。  
注：原料価格予測 DI は、「上昇」、「やや上昇」、「変わらない」、「やや低下」、「低下」の構成比にそれぞれ+0、+0.25、+0.5、+0.75、+1 を乗じて算出。「やや低下」、「低下」の割合が高いほど指数が高く、製品販売価格 DI とは算出方法が異なる。
- ③ なお、DI の算出においては、企業規模の大小に基づくウェイト付けを行って  
おらず、「1 社 1 票」の単純平均である。

<前月比の増減基準>

増加、上昇、良い、多め	: 5%以上
やや増加、やや上昇、やや良い、やや多め	: 2%以上~5%未満
かわらない	: ±0%以上~±2%未満
やや減少、やや低下、やや悪い、やや少なめ	: -2%以上~-5%未満
減少、低下、悪い、少なめ	: -5%以上

### (3) 調査方法

郵送によるアンケート調査

調査時点 平成 22 年 8 月

(4) 前月差については、ラウンドの関係で一致しないことがある。

本調査結果は、下記のホームページでご覧いただけます。

農林水産省 [【http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j\\_doutai/index.html】](http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_doutai/index.html)

(社)食品需給研究センター [【http://www.fmric.or.jp/stat/index.html】](http://www.fmric.or.jp/stat/index.html)

---

発行日 平成22年9月6日発行

社団法人 食品需給研究センター

〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-3

TEL : 03-5567-1991 FAX : 03-5567-1960

<http://www.fmric.or.jp>

---